

## 第２ 【事業の状況】

### １ 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第１四半期連結会計期間における生産実績については、単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

| 品 種 別  | 生産高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|----------|------------|
| 小ねじ    | 744      | 36.8       |
| タッピンねじ | 1,168    | 49.7       |
| ボルト    | 2,794    | 33.6       |
| 座金組込ねじ | 2,165    | 54.5       |
| その他    | 450      | 67.5       |
| 合 計    | 7,324    | 43.9       |

- (注) １ 金額は、販売価格によっております。  
２ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
３ 当社グループの製品は主として社内製作を行っているが、一部協力工場において外注加工を行っており、上記の数値には外注生産高が含まれております。

#### (2) 受注実績

当第１四半期連結会計期間における受注実績については、単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

| 品 種 別  | 受注高(百万円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|----------|------------|-----------|------------|
| 小ねじ    | 802      | 10.9       | 307       | 22.3       |
| タッピンねじ | 1,101    | 43.2       | 423       | 26.2       |
| ボルト    | 3,024    | 37.0       | 1,174     | 31.3       |
| 座金組込ねじ | 2,207    | 40.1       | 862       | 30.4       |
| その他    | 463      | 35.9       | 177       | 32.5       |
| 合 計    | 7,598    | 35.3       | 2,945     | 29.4       |

- (注) １ 金額は、販売価格によっております。  
２ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績については、単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

| 品種別    | 販売高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|----------|------------|
| 小ねじ    | 766      | 41.1       |
| タッピンねじ | 1,170    | 49.2       |
| ボルト    | 2,847    | 38.4       |
| 座金組込ねじ | 2,170    | 52.7       |
| その他    | 451      | 51.9       |
| 合計     | 7,406    | 45.1       |

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりです。

| 相手先      | 前第1四半期連結会計期間 |       | 当第1四半期連結会計期間 |       |
|----------|--------------|-------|--------------|-------|
|          | 販売高(百万円)     | 割合(%) | 販売高(百万円)     | 割合(%) |
| 日産自動車(株) | 1,897        | 37.2  | 2,586        | 34.9  |
| スズキ(株)   | 699          | 13.7  | 879          | 11.9  |

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年度後半から、立ち直りの兆しが見え、一部の企業業績や設備投資に回復が見られたものの、全体的にはデフレ傾向が継続し消費が伸び悩むなど好転には至らず、また欧州財政不安等の先行き懸念もあり、依然として不透明感は拭われておりません。

自動車産業におきましては、国内外における政策効果により最悪期は脱した感があり、国内では内需、輸出向けともに順調に推移し、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。海外でも、中国をはじめとする新興国では増産となり、世界の自動車生産台数は増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、販売数量増加を主要因に7,406百万円(前年四半期同期比45.1%増)となりました。利益面におきましても、原価低減諸施策の推進と受注量の増加により、営業利益は319百万円(前年同期は営業損失282百万円)、経常利益は266百万円(前年同期は経常損失308百万円)、四半期純利益は164百万円(前年同期は四半期純損失215百万円)となりました。

## (2) 財政状態の分析

資産の部については、流動資産が12,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。固定資産は7,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円の増加となりました。

負債の部については、流動負債が9,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円の減少となりました。固定負債は5,623百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円の減少となりました。

純資産の部については、株主資本が4,226百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円の増加となりました。評価・換算差額等は82百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円の減少となりました。

少数株主持分は、157百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円の増加となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、3,596百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における営業活動による資金の増加は、628百万円となりました。

これは主に、減価償却費が174百万円、賞与引当金の増加157百万円、売上債権の増加192百万円、たな卸資産の減少74百万円、仕入債務の増加81百万円によるものであります、

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における投資活動による資金の減少は、324百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出323百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における財務活動による資金の減少は、392百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出163百万円、短期借入金の純減少額257百万円等の資金の減少によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間の研究開発費の総額は61百万円であります。